

シルバー てんどう

2015 第45号

平成27年1月1日発行

編集発行／
公益社団法人天童市シルバー人材センター
〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号
天童市総合福祉センター2階
電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213
ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/tendo/>
メールアドレス tendo@sjc.ne.jp

迎春



シルバーの日ボランティア活動に130名の会員が集結。

目次

- 新年のごあいさつ 2
- 会員を募集しています 3
- シルバー人材センターをご利用ください！ 4



山形県シルバー人材センター連合会 平成26年度 安全標語 入選作品

優秀 **安全は 基本動作の積重ね あわてずあせらず しっかり確認**

北目2班 近藤 壽一

佳作 **摘み取ろう 手もと足もと 危険の芽**

老野森班 石山 艶子



地域に密着したシルバーへ

理事長 菅野 洋一

新年明けましておめでとう
ございます。

皆様には、御家族とともに
お健やかに新年をお迎えのこ
ととお喜び申し上げます。

当センターの事業実績が今
年度も順調に推移しており
ますことは、市民の皆様はじ
め各関係機関の高齢者就業
促進事業に対する御理解と
御支援の賜物と感謝申し上げ
ます。

今後、急速に少子高齢化が
進むなか、団塊世代の方々も
高齢者となり、シルバー人材
センターの役割がますます重
要になるものと考えます。

当センターは、会員の拡大
を促進しておりますが、企業
における定年の延長や継続雇
用の義務化により、会員数が
伸びない状況であります。

市民の皆様の中で現役を終
えられた方々に積極的に入会

していただき、これまで培っ
てこられた経験と知識をシル
バーでの就業に活かしてい
たいと思っております。

また、働くことのほか高齢
者の福祉向上と健康増進にも
力を入れ、仲間づくりや生き
がいづくり、地域の方々とい
体となったボランティアや社
会貢献活動の推進に積極的に
取り組んでおります。

地方経済での景気の回復
が遅れるなか、当センターの
運営は厳しい環境にあります
が、シルバー人材センターの
基本理念「自主・自立、共働

共助」の精神を忘れずに、会
員一人ひとりが経験と知識を
存分に発揮し、就業開拓、安
全就業に努め、役職員ともど
も市民に信頼され愛される、
地域に密着したシルバー人
材センターを築いていく所存
です。

おわりに、市民の皆様、行
政並びに関係機関の方々のさ
らなる御支援、御協力をお願
い申し上げます、今年も良い年
でありますよう、皆様方の御健
康と御多幸を祈念し、新年の
あいさつといたします。



新年のごあいさつ

天童市長 山本 信治

新年あけましておめでとう
ございます。

天童市シルバー人材セン
ターの皆様におかれましては、
健やかに新年をお迎えのこと
と心からお喜び申し上げます。
旧年中は、市政に対しまし
て、格別の御厚情を賜り、誠
にありがとうございます。

に類を見ない速さで進行し、
団塊の世代も高齢期を迎え、
本格的な超高齢社会を迎えま
した。本市におきましても、
高齢化率が26%を超え、4人
に1人以上が65歳以上の高齢
者となっており、そのよ
うな中で、高齢者の方々が長
年培った知識や豊かな経験等
を活かし、地域社会の様々な

活動に積極的に取り組まれる
ことが、ますます重要となっ
ております。

貴センターは、会員の皆様
の希望に応じた就業の機会を
確保するとともに、その能力
を生かした社会参加活動を支
援し、活力ある社会づくりに
寄与されておられます。今後
の社会において、貴センター
の役割はより一層大きく、ま
た幅広い分野に拡大していく
ものと考えております。今後
とも「自主・自立、共働・共

助」の基本理念のもと、地域
社会に根ざしながら、より一
層御発展されますことを強く
期待しております。

また、会員の皆様におかれ
ましては、皆様御自身の生き
がいの充実を図りながら、さま
ざまな活動に意欲的に取り組
んでいただきたいと思います。
結びに、貴センターの会員
並びに職員の皆様が、ますま
す御健勝で御活躍されますこ
とを祈念しまして、新年のあ
いさつといたします。

会員を募集しています ～入会説明会にどうぞ～

- ★天童市内にお住まいの**原則60歳以上の方**で、健康で働く意欲がありセンターの趣旨に賛同していただける方なら、どなたでも入会できます。
- ★入会説明会に参加し、入会申込書に記入していただきます。理事会で入会を承認後、入会決定通知を送付します。入会手続きの日に、会費を納めていただきます。
- ★会員の働き方には、「**請負・委任**」と「**一般労働者派遣**」があります。いずれも臨時的かつ短期的又は軽易な就業（月10日程度又は週20時間程度）です。
- ★入会しても、すぐに就業できるとは限りません。センターは、就業した対価として「配分金」を支払いますが、収入を保障することはできません。
- ★請負・委任の場合、センター又は発注者と雇用関係を持ちませんので、会員が協力し合って責任を持って業務を履行・完了していただきます。派遣の場合は、派遣先の指揮命令に従い働いていただきます。



入会説明会

と き 1月13日(火)・2月9日(月)
3月2日(月)・3月13日(金)
午前10時～

ところ 市総合福祉センター

会 費

法人年会費 初年度 3,500円
(翌年度からは 3,000円)
もみじ会費 500円

センターは、高齢者の技能向上や地域貢献にも取り組んでいます 働くこと以外にも、いろいろな活動があります。

会員交流



会員の交流と親睦を目的とした「もみじ会」。

昨年9月、大人気の加茂水族館とあつみ温泉に日帰り旅行。癒しのひと時を満喫。

10月は、グラウンドゴルフでひと汗かいたあと、おいしい手作り芋煮に舌鼓。

もみじ会は、会員の健康増進と生きがいの充実に貢献しています。

技能講習

55歳以上の方が技能を磨く「シニアワークプログラム」は、県シルバー連合会と共同で開催する技能講習。

今年度、緑地管理と子育て支援を当市で開催しました。

また、センターでは、農業支援や障子張り、家事援助等の講習を独自に開催します。

開催日程は、ホームページ又はお電話で。



地域班活動



センターは、地域に密着した活動をおこなうため35の地域班を編成しています。

公民館や公園の除草・清掃ボランティアで地域に貢献。年1回の班会議は、会員同士の懇談の場。

センターに入会すると、仕事の仲間、地域の仲間、新しい出会いがいっぱい。

シルバー人材センターをご利用ください!

お仕事のご依頼、お問い合わせは、天童市シルバー人材センター事務局へ **電話 023-654-7388**



シルバー世代の働く喜びと社会参加を応援します

シルバー人材センターは、高齢者の方々の知識と経験を活かした就業機会を開拓・提供することで、高齢者の社会参加の推進と生きがいの充実を図り、活力ある地域社会づくりに貢献します。

センター所在地

お問い合わせ
 お電話・FAX でのお問い合わせ
TEL 023-654-7388
FAX 023-652-0213
 メールでのお問い合わせ
tendo@sjc.ne.jp

◆ 主な仕事の紹介
 会員が長年培った知識や技能を活かして、さまざまなお仕事をお引き受けいたします。

技術・技能分野 植木剪定・雪囲い・消毒・障子・ふすま張替など	一般作業分野 草取り・草刈り、果樹農作業、清掃作業など	管理分野 建物・スポーツ施設・駐輪場管理、福祉施設宿直など
一般労働者派遣 指揮命令を伴う工場・店舗内の作業、自動車運転など	サービス分野 子育て支援、家事援助、軽度生活援助、登下校見守りなど	事務・外交分野 賞状・宛名書き、調査事務、広報紙配達など

◆ シルバー人材センターとは…

センターは、高齢者にふさわしい仕事を、事業所・家庭・公共団体等より有償で引き受け、会員に提供しています。

センターは、お客様のご依頼内容に応じ、**請負・委任(委託)** 又は **一般労働者派遣** でお仕事を受注します。

センターの会員は、**「自主・自立、共働・共助」** の理念のもと、自分の体力・能力・希望に応じて就業しています。

センターの就業は、臨時的かつ短期的なもの又は軽易なものとされていますので、同じ会員が同じ場所で就業できるのは、月10日程度又は週20時間程度になります。

センターは、事故防止と安全就業を徹底するとともに、公平な就業機会を得るためローテーションを取り入れています。

センターは、ボランティアなどを通じて高齢者の社会参加活動や地域貢献活動にも取り組んでいます。

これは、ウェブサイトのトップページです。 <http://webc.sjc.ne.jp/tendo/>

題字 尾形昌幸 会員(蔵増班)

■ 今年度、県シルバー連合会主催による安全就業標語の審査において、2名が受賞。優秀賞 近藤会員(北目2班) 佳作賞 石山会員(老野森班)

■ 12月から、当センターのホームページがリニューアルしました。ぜひ、ご覧ください。

■ ことしの冬も、これからますます厳しさが増すものと思いますが、健康と安全に充分留意されるところに、皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。

広報委員会

新年あけましておめでとうございます。

■ 広報「シルバーてんどう」第45号をお届けします。

■ 昨年は、地球温暖化による影響か、各地で集中豪雨に見舞われました。また、長野・岐阜両県にまたがる御嶽山の大噴火等、自然災害の多い一年でした。

編集後記